

科目名 Course Name	カウンセリング応用 Advanced Counseling			ナンバリング No.	A3-005		
年次	2年	単位数	前期	授業形態	2	授業形態	講義
担当者氏名	小竹仁美						
連絡方法	本館2階研究室か、C-ラーニング、メールで対応。オフィスアワーは担当教員から説明する。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 DP2						
授業の概要と到達目標	この科目は、さまざまな臨床場面で応用されているカウンセリングの理論と方法を学ぶ。 ① 各種療法の基礎理論を学び、説明できるようにする。 ② 各種療法を体験し、その効果を説明できるようにする。 ③ アドバンスカラーセラピスト資格を取得できるようにする。						
授業の方法	講義形式および実習などの参加型形式。						
学習成果	L01	各種療法の基礎理論を説明できる。各種療法を通じて、自らの心と体の状態を知り、効果を説明できる。					
	L02	アドバンスカラーセラピスト資格を取得できる能力を身につけることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業参加態度、レポート、試験は実施後に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	●メディカルハープ実習の材料費および心理検査用紙費は自己負担である(合計 5,000 円程度)。●アドバンスカラーセラピスト養成講座は別日程で実施する(受講希望者は 19,000 円必要)。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:臨床心理士 職歴 28年、公認心理士 職歴4年) 心理相談業務、カウンセリングの経験を説明や実習の際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、授業に積極的に参加していることである。30%の配点である。	30			
レポート/作品	S 評価は、学んだ技法を実践し、授業内容を活かし、論理的に構成されていること、および提出期限を守ることである。40%の配点である。	30	10		
発表					
小テスト					
試験	正誤問題および説明問題を実施する。30%の配点である。	30			
その他					
合 計		90	10		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、カウンセリングとは、アドバンスカラーセラピスト資格について
	事前・事後学習	カウンセリングの基礎知識を復習する。
2	授業内容	あなたが考える理想のカウンセラーとはどんな人か
	事前・事後学習	理想のカウンセラーについて考えをまとめる。
3	授業内容	心理テストによる自己分析・自己理解
	事前・事後学習	心理テストの結果をみて、自分の行動や思考の傾向をまとめる。
4	授業内容	カウンセリングの進め方、カラーセラピーシート
	事前・事後学習	授業内容を復習する。
5	授業内容	メディカルハーブセラピー 理論編
	事前・事後学習	授業内容を復習する。
6	授業内容	メディカルハーブセラピー 実践編(ハーブティー試飲)
	事前・事後学習	ハーブティー試飲後にレポートを作成する。【課題1】
7	授業内容	芸術療法理論、スキグル法と物語作り体験
	事前・事後学習	体験にもとづき、芸術療法の効果を考察する。
8	授業内容	ストレス理論、マインドフルネス
	事前・事後学習	授業内容を復習する。
9	授業内容	ストレスマネジメント
	事前・事後学習	ストレスマネジメント法を実践し、報告書を作成する。【課題2】
10	授業内容	グループエンカウンター
	事前・事後学習	授業内容を復習する。
11	授業内容	認知行動療法
	事前・事後学習	授業内容を復習する。
12	授業内容	カラージュ療法、箱庭療法
	事前・事後学習	カラージュ作成(素材や材料は各自が用意する)および報告書作成【課題3】
13	授業内容	箱庭療法体験①
	事前・事後学習	箱庭療法体験報告書作成【課題4-1】
14	授業内容	箱庭療法体験②
	事前・事後学習	箱庭療法体験報告書作成【課題4-2】
15	授業内容	15回までの授業の振り返り
	事前・事後学習	各自、授業での体験を振り返る。